



東京工業大学

平成24年度

A O入試

(第2類, 第3類, 第4類, 第5類, 第6類)

学生募集要項

平成24年4月入学

出願期間	平成23年12月14日(水)～12月16日(金)
第1段階選抜合格者発表日	平成24年 2月 1日(水)
第2段階選抜実施日	平成24年 2月 5日(日)
合格者発表日	平成24年 2月 8日(水)
入学手続日	平成24年 2月15日(水)

東京工業大学 ～世界最高の理工系総合大学を目指して～

□ 東工大は

東京工業大学(Tokyo Institute of Technology)は1881年設置の東京職工学校、蔵前にあった東京高等工業学校を経て1929年に大学となり、本年(2011年)で創立130年を迎えました。本学は学部学生、大学院学生合わせて約1万人、教職員約2千人を有する、我が国最大の理工系大学です。常に時代の最先端を切り拓き、“頼りになる大学”の役割を果たしてきました。

新しい将来構想として「東工大ビジョン 2009」を策定し「知(ち)、技(わざ)、志(こころざし)、和(わ)の理工人」を育成することを基本方針として、世界的な視野に立って大学力を高め、社会に貢献しうる分野を重点的に強化するとともに新しい価値の創造に挑戦し、発展を目指します。

□ ものづくりから創造へ

東工大は創造性豊かな教育によって、ノーベル賞受賞者の白川英樹博士をはじめ、数多くの優れた人材を世に送り出してきました。この実績をもとに、確かな基礎力を修得した「創造型人間」の育成を目指しています。“ものづくり教育研究支援センター”を土壌とし、実践の場で“ものづくり”に自主的・主体的に取り組む、確かな基礎学力と深い専門性の修得を訓練する独得のプログラムもあります。サークルの一つであるマイスターが製作した人力飛行機もその一例です。時代の激しい変化に対応する適応能力、人と人とを結びつける統合力をもつ人材の養成が東工大の大きな使命です。

□ 東工大で学べるもの

東工大には、学部(理学、工学、生命理工学)、大学院研究科(理工学(理学系、工学系)、生命理工学、総合理工学、情報理工学、社会理工学、イノベーションマネジメント)があり、理工学に関するあらゆる分野が学べます。また、統合研究院のもとに研究所(資源化学、精密工学、応用セラミックス、原子炉工学、像情報工学)、そして数多くの研究教育施設・センターにより、社会、産業界の要請に応えてきました。「理工へ行くなら東工大」、「学生を採用するならば東工大」です。2011年には新図書館が開館し、より便利で快適な学習環境を提供します。

□ 世界のフロンティアをひらく研究

東工大は先端科学技術、融合領域、新規領域に意欲的に取り組んでいます。多様な分野で多彩な教授・准教授・講師・助教の教員群、研究員が国際的に活躍し、グローバル社会を先導する役割を果たしています。

文部科学省の21世紀COE(Center of Excellence)は、東工大が誇る最も強い研究分野に設けられ、世界の研究教育拠点を目指しました。12のCOEでは、世界最高

水準の研究のもとで、博士課程の大学院教育システム改革を、研究科を越えて行いました。

後継事業のグローバルCOEには、2007年度に5チーム、2008年度に3チーム、2009年度には1チームが採択され、合計9チームが活動しています。

2005年に文部科学省スーパーCOEによる“統合研究院”を設立しました。社会・産業が抱える重要課題解決を図るためです。2010年より新しい統合研究院として、学内外の連携を強め組織的に取り組む東工大発の「ソリューション研究」も推進しています。

□ 特徴ある文系・芸術系教育

東工大では、理工系の専門教育だけでなく、特徴ある文系科目が充実しているのも伝統です。2006年には「世界文明センター」を発足させ、文学、音楽、美術、映像などが学べる仕組みをつくりました。

□ 東工大の得意わざ

2010年にはスーパーコンピュータ“TSUBAME”が“TSUBAME2.0”に進化しました。代表的なスパコン性能ランキングの2つのうち、Green500(電力性能)で世界2位、TOP500(絶対性能)でも世界4位を達成しました。

世界に開かれた若手研究者のためのGlobal Edge Institute、産業界と連携して社会が要請する若手研究人材を養成するプロダクティブリーダー養成機構、国際的リーダーシップの育成を目指して中国・清華大と合同大学院を開設したのに加え、さまざまな国際連携、組織的・戦略的な産学連携などを実施しています。2011年にはグローバル社会を牽引するトップリーダーを養成するグローバルリーダー教育院を設置しました。

東工大は世界大学ランキング(2010年QS)によると、総合では世界第60位、日本第4位にランクされています。

□ 活発なサークル活動

東工大は研究、教育だけでなく、仲間が力を合わせて高いレベルを目指すサークル活動も活発です。

2010年の人力飛行機「鳥人間コンテスト」の4度目の優勝や混声合唱団の13年連続金賞など、その実績はすばらしいものがあります。これらサークル活動に対する国内外での高い評価は、全学教職員、学生を挙げてのみなみならぬ努力の成果です。

東工大は研究・教育の特徴を最大限に活用し、社会と世界の期待に応えます。

どうぞ、東工大にご注目ください

I. 求める学生像

人類と社会の持続的発展に貢献しようという高い志を有し、理系科目を中心に確実な基礎学力を備えた者。とりわけAO入試では、枠にとらわれない柔軟な発想力と、その発想を他者と共有するための表現力の2点に秀でた素質が認められる者を強く求めます。

II. 募集人員

第2類	:	10人
第3類	:	10人
第4類	:	20人
第5類	:	20人
第6類	:	15人

III. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成24年3月卒業見込みの者
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成24年3月修了見込みの者
3. 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者
 - (1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - (2) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程(又は相当する課程)を有するものとして認定(又は指定)した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成24年3月31日までに修了見込みの者
 - (3) 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が別に定める日以後に修了した者
 - (4) 文部科学大臣の指定した者(昭和23年文部省告示第47号)
 - (5) 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)による高等学校卒業程度認定試験に合格した者(旧大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び平成24年3月31日までに合格見込みの者で、平成24年3月31日までに18歳に達するもの
 - (6) 本学において、個別の出願資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成24年3月31日までに18歳に達するもの

[注] 上記(6)で出願しようとする者は、出願前の下記の期間に出願資格審査を行うため入試課に連絡のうえ(電話 03-5734-3990)、必要書類をそろえて申請してください。
申請書類は、入試課ホームページ(巻末参照)にも掲載しています。

【申請期間】

平成23年11月14日(月)～11月22日(火) 17時まで

IV. 出願に際しての注意

合格した場合には必ず入学することを確約できること。

V. 出 願

1. 出 願 期 間 **平成23年12月14日（水）～ 12月16日（金）（12月16日必着）**
2. 願書郵送方法 **郵送のみ受け付けます。** 出願書類等は、本学所定の封筒に入れ、必ず「**速達書留**」扱いで郵送してください。
3. 出 願 書 類 等 出願書類のうち、ア、イ、オ、カ及びキは、本学所定のものを使用してください。

出願書類等	摘 要
ア 志願票・ 電算処理票	所定のものを使用し、必要事項（太枠内）を記入漏れのないよう明記してください。用紙は切り離さないでください。
イ 受験票・写真票	受験票・写真票の必要箇所（太枠内）に志願者の氏名・フリガナ・志望類を記入し、写真票の写真欄に指定サイズの写真（カラー、白黒問わず）を貼ってください。 また、受験票裏面に志願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、50円分の切手を貼ってください。発送は12月22日（木）の予定です。 1月3日（火）までに届かない場合は、1月4日（水）以降入試課へ問い合わせてください。
ウ 大学入試 センター試験 成績請求票	大学入試センターから交付された、平成24センター試験成績請求票のうち、『 AO 国公立AO入試用』を電算処理票の所定欄に貼ってください。
エ 調査書	学校長が発行した調査書（厳封されたもの）を提出してください。 やむを得ない事情により、調査書を提出することができない者は本学入試課までご連絡ください。
オ 志望理由書	所定のものを使用し、志望理由を800字以内で記述してください。
カ 入学検定料	17,000円を別添の払込取扱票にて郵便局・ゆうちょ銀行及び金融機関（三井住友銀行を利用した場合は手数料無料）で払い込み、「振替払込受付証明書（お客さま用）」を電算処理票の所定の貼り付け欄に貼付してください。 なお、一度納入した入学検定料は、願書受理後はいかなる理由があっても返還しません。 ただし、第1段階選抜の不合格者には、13,000円を返還します。 返還方法については第1段階選抜合格者発表日以降郵送でお知らせします。 ※ 入学を希望する者又は主たる家計支持者が居住する地域の自然災害により罹災し、災害救助法（昭和22年法律第118号）の適用を入学願書の提出時に受けており、検定料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学検定料を免除することがあります。詳しくは、出願期間前に入試課までお問い合わせください。
キ 住所票	住所、氏名等を記入してください。
ク その他 (該当者のみ)	日本国籍を有しない者は、登録原票記載事項証明書又はビザの写しを提出してください。 出願資格審査により認定された者は、「出願資格審査の結果について（通知）」のコピーを提出してください。

4. 第6類を志望する志願者は、出願書類全ての志望類記入欄に、「6A」、「6B」、「6C」を選んで記入してください。
5. 障がい等のある志願者は、修学上の特別な配慮を必要とすることがありますので、事前に入試課に申し出てください。

Ⅵ. 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

志願者は、以下に示す本学が指定する教科・科目を全て受験してください。
 なお、指定された教科・科目を1つでも受験していない場合は、本学に出願することはできません。

教科	科目
国語	「国語」
地理歴史 公民	「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」, 「現代社会」, 「倫理, 政治・経済」 から1科目
数学	「数学Ⅰ・数学A」の1科目 「数学Ⅱ・数学B」, 「工業数理基礎」から1科目 } 合計2科目
理科	「物理Ⅰ」, 「地学Ⅰ」, 「化学Ⅰ」, 「生物Ⅰ」から2科目
外国語	「英語(リスニングを含む)」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」 から1科目

注1. 工業数理基礎を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者だけです。

注2. 「地理歴史・公民」の中から2科目を受験した場合には、第1解答科目の得点を用いることとします。

Ⅶ. 2段階選抜

1. 第1段階選抜

志願者数が類ごとの募集人員の約2～3倍を超えた場合には、本学が指定する大学入試センター試験5教科7科目の成績(得点合計)により第1段階選抜を行うことがあります。

第1段階選抜における大学入試センター試験の各教科の配点は、下表のとおりです。

教科	国語	地理歴史 公民	数学	理科	外国語※	合計
配点	200	100	200	200	250	950

※ 外国語として英語以外の科目を選択した者及び英語リスニング免除者は、外国語の配点200点を250点に換算した得点とします。

- ・第1段階選抜合格者発表日 平成24年 2月 1日(水) 17:00頃
本学ホームページ(巻末参照)(PDF形式)に掲載します。
- ・第1段階選抜合格者は既に送付している受験票により、第2段階選抜試験を受験してください。

2. 第2段階選抜

第1段階選抜に合格した者に対して、個別学力試験（総合問題）、志望理由書及び調査書によって行います。

ア 試験日等

・第2段階選抜試験実施日 平成24年 2月 5日（日）

類	総合問題		試験時間	配点
第2類	筆記		9:30～11:00 (90分)	100点
	面接		13:00～16:00	
第3類	筆記		9:30～11:00 (90分)	100点
	面接		13:00～18:00	
第4類	筆記		9:30～11:30 (120分)	100点
	面接		13:00～16:30	
第5類	筆記		9:30～12:00 (150分)	100点
	面接		13:30～16:00	
第6類	A	筆記 面接	9:30～11:00 (90分) 13:00～18:00	100点
	B	造形課題	9:30～11:30 (120分)	100点
	C	面接	9:30～12:30	100点

イ 試験内容等

類	総合問題		内 容
第2類	筆記		基礎学力と応用力を問う材料に関する設問により、特に論理的な思考力と記述力を評価する。
	面接		自然科学に対する考え方等について試問し、材料学を学ぶうえで必要な適性を判定・評価する。
第3類	筆記		科学全般を範囲とし、化学を中心とする知識及び考え方から出題する。特に論理的な思考力と文章力（記述力）を評価する。
	面接		科学的な知識及び考え方について問う。また、社会と化学の関係についての考察力・思考力と口頭発表による表現力を評価する。
第4類	筆記		与えられた課題に対して、多角的な視点から考察し、それを論理的かつ明解に記述する能力を問う、数学Ⅲや物理Ⅱの知識を必要とする場合がある。
	面接		理数分野を主としたテーマに対して論理的かつ明解に説明する能力を問う。
第5類	筆記		与えられた技術課題に対する解決法を提案し、それを論理的かつ明快に記述する能力を問う。
	面接		電気や情報の分野に対する志望動機、学習意欲及び適性を評価する。
第6類	A	筆記 面接	国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して、問題の所在を整理し解決策を提示できる能力並びに表現の能力を試す。
	B	造形課題	建築に関する思考に必要となる3次元の空間把握・表現についての能力を評価する。
	C	面接	経済学や都市計画の方法論を学んで社会の問題解決に貢献しようという素養と意欲を評価する。

※ 第6類では、総合問題Aを受験し合格した者の中から最大5名は土木・環境工学科に、総合問題Bを受験し合格した者の中から最大7名は建築学科に、総合問題Cを受験し合格したもののうちから最大3名は社会工学科に、それぞれ2年次の学科所属の際に優先的に所属することができます。

ウ 試験場等

個別学力試験は本学大岡山キャンパスで実施します。

個別学力試験に関する注意事項、受付場所等については、第1段階選抜合格者発表と同時に、本学ホームページ(巻末参照)(PDF形式)に掲載しますので確認してください。

VIII . 合格者発表

1. 平成24年2月8日(水)12時頃本学大岡山キャンパス内講堂脇にて掲示します。この掲示が正式なものですので必ず確認してください。

また、同日13時頃よりホームページ(巻末参照)(PDF形式)にも掲載します。

合格者発表と同時に合格者に対して、合格通知書及び入学手続関係書類を発送します。

2. 合否に関しての電話等による問い合わせには一切応じません。

なお、試験当日に、学外(大学正門前、大岡山駅周辺)で行っている合否電報等の勧誘は、大学とは一切関係ありませんので十分注意してください。これらのことから生じるトラブル等に対して、本学は一切責任を負いません。

IX . 入学手続等

入学手続は郵送のみで行います。

手続者は事前に(合格発表後～2月13日(月)までに)本学学務部教務課宛(E-mail : gak.nyutetsu@jim.titech.ac.jp)に必要事項を連絡したうえで、2月15日(水)必着とし、必要書類を速達書留により郵送してください。

なおE-mailによる連絡が困難な場合は電話(03-5734-3004)により連絡してください。

事前の連絡が無く、かつ必要書類が期限まで届かない場合は、入学を辞退したものと取り扱い、これ以降の入学手続は一切認められません。

詳細な手続事項は、合格者発表日に郵送する入学手続関係書類を参照してください。

1. 入学金 282,000円(予定)は、所定の払込取扱票を用い、金融機関窓口(三井住友銀行を利用した場合、手数料無料)で上記郵送手続に間に合うよう払い込んでください。

入学金免除・徴収猶予を希望する場合は、払い込まず必要書類を郵送してください。

2. 授業料について

(1) 授業料は、前期分・後期分各267,900円(年額535,800円)(予定)です。

納入は、前期分5月末まで、後期分11月末までとなっています。

入学後、口座振替での納付となりますので、3月9日(金)に本学より郵送する書類に基づき、手続を行ってください。(やむを得ず口座振替での納付ができない場合には、振込取扱票による振込も可。)

なお、授業料免除・徴収猶予を希望する場合もこの手続を行ってください。

(2) 授業料は希望により、前期分の納付の際に後期分も合わせた年額を納付することができます。

(3) 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

3. その他諸経費

ア 各種保険等(30,000円程度)

イ その他

X. 入学辞退

AO入試の合格者の入学辞退は認められません。ただし、特別な事情により本学に入学することができなくなった場合においてのみ、「AO入試入学辞退届」（様式任意、受験番号、氏名、具体的な辞退事由を必ず記載）を本学入試課に提出してください。提出期限は、郵便による提出の場合は速達書留で平成24年2月14日（火）必着、窓口で直接提出する場合は平成24年2月15日（水）12：00までとします。受理された者は、本学又は他の国公立大学等の一般入試を受験することが認められます。

XI. AO入試出願者の一般入試への出願

本学のAO入試で不合格となった者は、本学又は他の国公立大学等の一般入試を受験することができます。その場合に備えて「前期日程」「後期日程」入試それぞれに1つつ出願しておくことが可能です。ただし、本学AO入試に合格した場合、本学又は他の国公立大学の一般入試を受験しても合格者の対象とはならないので注意してください。（X. 入学辞退により辞退届を受理された者を除く）

XII. 個人情報の取扱い

1. 出願にあたり知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格者発表、③入学手続業務を行うために利用します。
2. 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成のために利用することがあります。
3. 上記1及び2の各種業務での利用にあたり、一部業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）において行うことがあります。
については、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる限度で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供することがあります。
4. 国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名、受付番号、大学入試センター試験の受験番号、合否及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。
5. 出願にあたり知り得た個人情報は、入学者のみ①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

XIII. 注意事項

1. 出願後の提出書類の内容変更は認めません。記入時には十分注意してください。
2. 出願書類等について、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、合格等を取り消すことがあります。
3. 出願書類の情報については、入試及び入試関連業務のみに使用します。
4. 出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
5. 最新情報は、ホームページ（巻末参照）で公表しますので、ご注意ください。

メッセージ

創(つくり)拓(ひら)く理系人(りけいびと)たれ

—入学希望者へ

遠く宇宙の果てへの探究から微細なナノ・スケールでの造形まで。あるいは抽象思考の極北を旅する純粋数学の凜とした美しさから、フラスコにひそやかに息づく生命の温もりまで。およそ「自然」なるもののすべてを相手どる理系分野の学問は、とてつもない広がりをもっています。かつ、その卓越した発想や技法は今や文系分野の学問にも浸透し、新たな地平を切り拓きつつあります。

そうした無限の広がり可能性へのたゆまぬ挑戦。我が国を牽引する理工系総合大学としての使命感を胸に、1881年創立という長い伝統からゆたかな叡智を汲み上げ、世界各国の大学や研究機関と緊密な連携を組みながら、本学は日々、前人未踏の革新へと挑んでいます。

目線は高く人類の未来を見すえ、地球環境との調和を考えつつ、しかし、手はつねに動いて、ネジ一つの工夫で今日よりも明日を快適にする道をさがっています。

その本学が入学者に期待する資質は、ただの二つです。

1. 「理系」であることに「自信」を持っていること。
2. 「理系」であることに「誇り」を持っていること。

得意な分野は数学でも物理でも化学でも、あるいはこれらを応用して、さまざまな創造を試みる工学的な諸分野のどれかでも構いません。とことん好きで、これなら負けないと自信を持てる足場をしっかり自らの内に築いておいていただきたい、というのが一つめの希望です。その足場から、すすくと関心を広げ、文系理系を問わない奥深い専門性や独創性へと導かれゆく扉は、本学の教育カリキュラムの中にたくさん開かれています。

そして、理系科目が好きであると同様に、理系である自分自身をも好きでいていただきたい、というのが二つめの希望です。果てしない広がりを持つ自然科学という学問を選んだ自分の選択に誇りを持ち、掲げるに足る目標を見つけ出して敢然と登攀して下さい。本学には、専門性へと没入するあまり自らの位置を見失ってしまわないよう、社会的な観点や文化的な感性を培うための研鑽の機会も、ふんだんに設けられています。

荒れ地に種を蒔く開拓者たる勇気を一。東京工業大学は、たくましく挑戦的な理系精神を強く求めます。

入学者に求める資質と能力

科学・技術への知的好奇心と探究心を有し、
基本的な概念や考え方、応用力を身に付けた人材を求めます

東京工業大学は、学士、修士、博士、及び専門職学位の取得を目指す各課程の教育目標に基づいて、充実した基礎教育、教養教育と専門教育を有機的に関連させる楔形教育、「ものづくり」を基本とする実学教育、創造性を育む実習教育、最先端の研究を核として高度な技術者・研究者を養成する専門教育、国際連携を活用した教育など、世界に冠たる理工系総合大学に相応しい教育を行います。

そこで、本学の各課程では、次のような資質と能力をもつ人材を求めます。

学部(学士課程)

- ・自然科学の基本的な概念や考え方を身に付け、応用できる力を有している。
- ・論理的に思考し、集中してものごとに取り組むことができる。
- ・専門教育で必要となる基礎的な語学力を有している。
- ・自然科学を探究し、科学・技術の発展に貢献する意欲を有している。

